

2026年4月23日

VicOne 株式会社

VicOne、「人とくるまのテクノロジー展 2026 YOKOHAMA」に出展

SDV時代の自動車サイバーセキュリティ対策を展示・講演で発信

～登壇セッションでは急増する車載攻撃の最新動向と、

業界を担う次世代セキュリティ人材の育成活動を紹介～

トレンドマイクロ株式会社（東京都新宿区、代表取締役社長（CEO）エバ・チェン）の子会社で、自動車向けサイバーセキュリティ分野のリーディングカンパニーである VicOne 株式会社（ヴィックワン、東京都渋谷区、最高経営責任者（CEO）マックス・チェン）は、5月27日（水）～29日（金）の3日間、パシフィコ横浜にて開催される「人とくるまのテクノロジー展 2026 YOKOHAMA」に出展します。

会期中は展示ブースでの製品・ソリューション紹介に加え、「モビリティ DX イノベーションステージ」および自動車技術会主催「フォーラム YOKOHAMA 2026」の2つの講演セッションにも登壇します。



人とくるまのテクノロジー展 2026

Automotive Engineering Exposition 2026

YOKOHAMA



■「人とくるまのテクノロジー展 2026 YOKOHAMA」参加の背景と目的

「人とくるまのテクノロジー展」は、公益社団法人自動車技術会が主催する国内最大級規模の自動車技術専門展示会です。国内外から600社以上の出展社が集結し、次世代モビリティを支える最新技術・製品が一堂に会します。

自動車業界は現在、エンジン車を中心とする従来設計の車両が世界の保有台数の主流を占める一方で、ソフトウェアで車両機能を定義するSDV（ソフトウェア・デファインド・ビークル）やコ

ネクテッド技術、AI を搭載した次世代車両の量産化が急速に進展しています。VicOne が今年 3 月に発表した「2026 年 自動車サイバーセキュリティレポート」によれば、2025 年に報告された自動車サイバーセキュリティインシデントは 610 件と前年の約 2.84 倍に急増しており、攻撃の矛先は車載システムや充電インフラにまで拡大しています。

VicOne は本展示会への出展と講演を通じて、こうした時代の変化に対応する実践的なセキュリティ対策の考え方と、設計・開発から運用までをカバーする包括的なソリューション群を紹介いたします。また、VicOne ブースでは、Intellias Mobility 社との技術協業による実機展示も行います。Intellias Mobility が長年培ってきたソフトウェア実装技術を活かし、Qualcomm SoC 上に QNX を実装、その環境上で VicOne の車載 IDPS 「xCarbon」を QNX 上で動作させる構成により、車載プラットフォームとして広く採用されている Qualcomm SoC および QNX 環境にセキュリティを組み込んだ形での車載製品開発の実現性を、実機を通して具体的にご紹介します。

「人とくるまのテクノロジー展 2026 YOKOHAMA」 イベント概要

【開催日時】 2026 年 5 月 27 日（水）～29 日（金） 10:00～17:00

【会場】 パシフィコ横浜：展示ホール・ノース

【VicOne ブース】 小間番号：ノース会場 N86

【主催】 公益社団法人 自動車技術会

【参加費】：無料 ※事前登録制

【特設サイト】 <https://aee.expo-info.jsae.or.jp/ja/yokohama/>

【VicOne ブース主要展示内容】

SBOM・脆弱性管理ツール「xZETA」：SBOM を含む包括的な BOM を作成し、ゼロデイ・未公開を含む脆弱性および車両ソフトウェアに潜む脅威を可視化するスキャンツール

エッジ AI 向けセキュリティソリューション「xPhinx」：既存の AI モデルを再学習や調整することなく導入可能で、車載エッジ AI の安全性をリアルタイムで確保するソリューション

車両サイバー脅威インテリジェンスプラットフォーム「xAurient」：OEM およびサプライヤーの開発環境に対応し、攻撃経路を特定する独自の分析機能を備え、脅威の発生メカニズムや背景を可視化するプラットフォーム

車載 IDPS「xCarbon」：車両内の重要な ECU をサイバー攻撃から保護する、マルチプラットフォーム対応で軽量の侵入検知&侵入防御システム（IDS/IPS）

次世代 VSOC 用プラットフォーム「xNexus」：車両に迫る脅威を精密に可視化し、適切な対策へと導く VSOC 支援プラットフォーム

自動車サイバーセキュリティ対策支援サービス「TARA」／ペネトレーションテスト「xScope」：VicOne の知見と Block Harbor をはじめとするパートナーとの協業に基づいた、幅広いサイバーセキュリティ対策支援サービス

各製品に関する詳細は、<https://vicone.com/jp/products> をご覧ください。

■VicOne 登壇セッションについて

①「モビリティ DX イノベーションステージ」

【日時】2026年5月28日（木）14:00～14:20

【会場】パシフィコ横浜 ノース 1F モビリティ DX イノベーションステージ

【聴講】無料（事前予約不要、直接会場へお越しください）

【詳細ページ】https://aee.expo-info.jsae.or.jp/ja/yokohama/presentation_stage/

【登壇者】VicOne 株式会社 執行役員 技術統括 シニアディレクター 原 聖樹

【講演タイトル】車載セキュリティの新局面：ハードとソフトが融合する「オーバーラップ期」の脅威とメーカーの責任

【講演内容】伝統的な車両と「走るコンピュータ」と言われる次世代車両が共存する今、自動車セキュリティは大きな転機を迎えています。本講演では、2025年に急増した車載システムや充電基盤への攻撃事例とAIの悪用によって生じる新たなリスクを分析し、複雑化する脅威への即応に不可欠な動的リスク管理体制の重要性について提言します。

②「フォーラム YOKOHAMA 2026」

自動車技術会が主催する、自動車技術および関連分野の最新動向や将来の展望を紹介する講演会です。「人とくるまのテクノロジー展 2026 YOKOHAMA」と同会場で開催されます。

【日時】2026年5月29日（金）9:30～12:30 [26-Y7]自動車のサイバーセキュリティ最前線

【会場】パシフィコ横浜 2F アネックスホール F203

【聴講】無料（事前予約制、展示会来場登録とあわせてご予約ください）

【詳細ページ】<https://aee.expo-info.jsae.or.jp/ja/yokohama/forum/>

【登壇者】VicOne 株式会社 日本地域代表 カントリーマネージャー 小田 章展

【講演タイトル】自動車サイバーセキュリティに関する人材育成の取組「VCC2026」

【講演内容】VicOne が開催する実践型自動車サイバーセキュリティコンテスト「VCC (Vehicle Cybersecurity Competition)」の取り組みを紹介します。技術者の実践力育成とコミュニティ形成という観点から、自動車業界全体のサイバーセキュリティ水準向上に向けた VicOne の活動についてお伝えします。

VicOne は、展示会への出展・講演・コンテスト開催を通じて、自動車サイバーセキュリティの重要性を継続的に発信するとともに、OEM やサプライヤーが変化する脅威環境に対応できるよう支援していきます。

VicOne について

VicOne は、これからの自動車を守るというビジョンを持ち、自動車産業向けに幅広いサイバーセキュリティソフトウェアやサービスを提供しています。自動車メーカーの厳しい要求に応えるために開発された VicOne の各ソリューションは、現代の車両が必要とする高度なサイバーセキュリティの各種要件に適合し、大規模な運用にも応えるように設計されています。VicOne は、トレンドマイクロの子会社であり、トレンドマイクロが 30 年以上にわたって培ってきたサイバーセキュリティ技術をベースにしています。自動車サイバーセキュリティのグローバルリーダーとして、サイバーセキュリティにおける独自の深い知見を活かした先見性を提供し、お客様が安全でスマートな車両を開発できるよう支援しています。

〈会社概要〉

日本法人名	VicOne 株式会社（英語名：VicOne Corporation）
グローバル代表 CEO	マックス・チェン
日本法人役員	会長 マヘンドラ・ネギ、 マックス・チェン等
設立日（台湾）	2022 年 6 月
設立日（日本）	2023 年 6 月（登記月）
従業員数（グローバル）	約 120 名
本社所在地	東京都渋谷区千駄ヶ谷 5-27-5 リンクスクエア新宿
事業内容	自動車向けサイバーセキュリティソリューションの開発
URL	https://www.vicone.com/jp